

Facebookグループの概要

非公開
グループ

第2回年次大会のネットワーキングセッションのフォローを目的として2016年に開設し、所属機関を超えたURAのネットワーキングの場として運用しています。今年1月に2回目のリニューアルして活動中です。ご興味のある方はご参加ください。

現在、**メンバー98人** (55機関以上)

Facebookにログインし、下記キーワード or QRコードで検索して下さい。投稿はグループに参加しないと読むことができません。

Rman-j Networking 2022-2024

[管理人]

信州大学 URA 松山 紀里子
同志社大学 URA 石田 貴美子

[参加方法]

①グループ参加の申請を行う。

メンバーの「承認」が必要です。
なかなか承認されない場合は、メール等でご連絡いただくと助かります。
「管理人」 kirico@shinshu-u.ac.jp



②参加メンバーから招待してもらう。

Rman-j Networking 2022-2024

since Jan 11, 2022

Rman-j Networking 2022-2024

■ プライベートグループ・メンバー98人

参加済み 招待する

情報 ディスカッション 注目 ルーム トピック メンバー イベント メディア ファイル

松山 紀里子 1月11日

2022.1.11

Welcome to Rman-j Networking Group !

URAなど研究支援関係者のネットワーキングを目的に2016年9月に開設してから5年3ヶ月、2018年4月のRenewから3年8ヶ月が過ぎ、2回目のRenewです。

Renewalにあたりグループ管理者も一新すべきと思ったのですが、後任者を見つけれず(口添書きとせず)、管理者を務めさせていただきます。すみません・・・、新しい管理者も引き続き募集集中です。

【投稿のルール】日々の業務のなかで思うこと、頑張っていること、有益な情報の共有、質問などを自由に投稿してください。また、イベント告知や情報共有の際には、ここだけの追加情報、お高めポイント等のコメント付で是非お願いします。いいね、コメント等のリアクションもお待ちしています。

誰でも新しいメンバーを招待 & 承認できます。
ただ、Facebookの友達同士じゃないと招待できないようです。

グループ情報

大学・研究機関等の研究支援に携わる人のネットワーキングを目的とした非公開グループ

プライベート
メンバーとグループ内の投稿を見ることができるのはメンバーのみです。

検索可能
誰でもこのグループを検索できます。

一般

平田 徳宏、Kana Tokuda、他17人 コメント4件 89人が既読

Facebookグループの活動状況

過去4ヶ月の実績

2022年1月～2022年5月

[1週間平均]

- ・8 投稿
- ・10 コメント
- ・77 リアクション

※まあまあ活動的なグループです。

グループメンバー

2022年5月5日現在

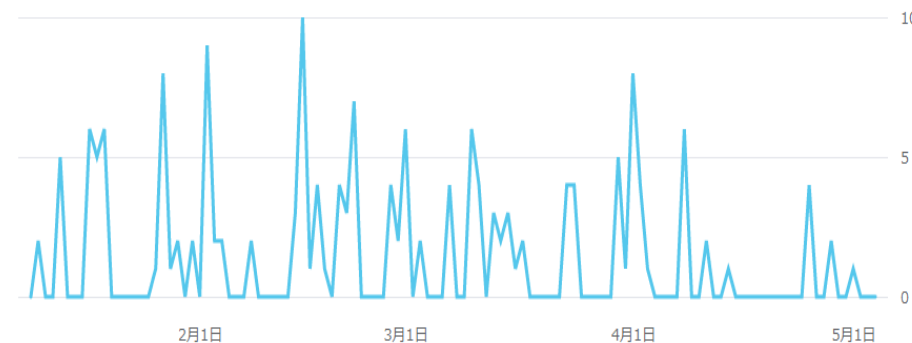
98人

55機関以上のURA等が参加



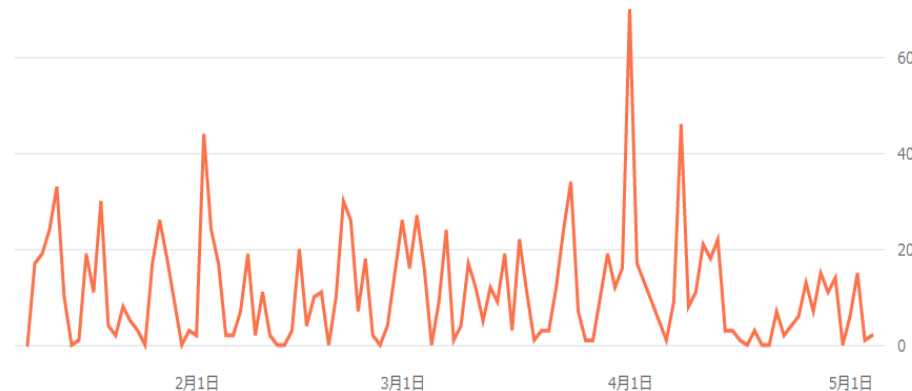
投稿数

141件



コメント数

168件



リアクション数

1,290件

メンバーの所属機関 (おおよそ)

2022年5月現在のメンバーの所属機関 (確認できているもの)

[国立大学・研究機関]

- ・北海道大学
- ・弘前大学
- ・山形大学
- ・筑波大学
- ・東京大学
- ・東京工業大学
- ・東京農工大学
- ・東京海洋大学
- ・電気通信大学
- ・お茶の水大学
- ・横浜国立大学
- ・信州大学
- ・金沢大学
- ・福井大学
- ・新潟大学
- ・名古屋大学
- ・岐阜大学
- ・京都大学
- ・大阪大学
- ・神戸大学
- ・広島大学
- ・高知大学
- ・九州大学
- ・九州工業大学
- ・熊本大学
- ・琉球大学
- ・自然科学研究機構
- ・国立遺伝学研究所
- ・情報・システム研究機構
- ・総合地球環境学研究所
- ・高エネルギー加速器研究機構



[公立大学]

- ・東京都立大学
- ・横浜市立大学
- ・名古屋市立大学
- ・大阪公立大学

[私立大学]

- ・早稲田大学
- ・昭和大学
- ・北里大学
- ・学習院大学
- ・慶應義塾大学
- ・金沢医科大学
- ・静岡理工科大学
- ・中部大学
- ・同志社大学
- ・関西大学

[その他]

- ・文部科学省
- ・科学技術振興機構 (JST)
- ・日本医療研究開発機構 (AMED)
- ・理化学研究所
- ・防災科学技術研究所
- ・結核予防会結核研究所
- ・アジア経済研究所
- ・総合科学研究機構
- ・アカデミスト

ほか





第1回研究大学エグゼクティブフォーラムの第二部と第三部がつつがなく終了しました。
第一部の質疑応答が盛り上がり、何を言ってもいい雰囲気になったまま第二部のパネルディスカッションに突入しました。ディスカッションテーマは、
1. 研究力強化と雇の施策・方向性
2. 見直しが進むURA総務の再構成
3. 認定制度とスキル認定機構
時間切れで第一部のような会場を巻き込んだ議論には発表しなかったのがちよと残念でした。
第三部は情報交換会@黄色ホテル。
コロナ対策で大きな円テーブルに3~4人の着座式。
アクリル板も配置されていて、同席者との会話さえ若干困難な状況でした。かなり大きな声で話しましたが、正確に聞き取れない部分も多かったです。
池田先生の観念の挨拶にはじまり、山崎RA協議会長の7年間にわたる御取力を物える？永田筑波大の具のスピーチ(異議？)が真実とは思えないほど会場の笑いを取り、リアル開催の良さを改めて実感しました。

このグループだと、朝代さん、米澤さんが参加されました。参加者名簿が配布されなかったので、漏れてたら、私もいたよ！コメントをお願いします。
この業界は男女比が半々くらいになりつつありますが、出席者の女性比率は1割強くらい。まだまだ男性の力が強いですね...



小泉 周、鈴木 聡昭、他7人 コメント6件 70人が既読

- いいね！ コメントする
- すべてのコメント
- 池田 一郎
アーカイブでも聞きたかったですね
いいね！ 返信する 7週間
- Takuya Kubo
さすが懇親会がゴージャス。(2次会が楽しみです)
いいね！ 返信する 7週間
- 松山 紀里子 投稿者 管理権 +2
おそらく大部分は一次会で解散ですね。数人単位のグループでこっそり2次会はありそうな雰囲気でした。私はもう宿です。
いいね！ 返信する 7週間 編集済み
- Takuya Kubo
なんともったいない。金沢の夜に盛り出したかった..
いいね！ 返信する 7週間



松山 紀里子さんがリンクをシェアしました。
URAスキル認定制度の研修&認定実施機関として、一般社団法人リサーチ・アドミニストレーターズスキル認定機構 (Japan Certification Board for Research Administration and Management Skills : J-CRAMS) が設置され、Webサイトが公開されました。
機構長は、山本達一先生です。

オリエンテーションとして、URAスキル認定制度について福屋さんによる説明動画3本が公開されています。

また、本年度のFundamental&Coreレベルの研修について、本日から申込みが開始されています。諸般の事情により、参加申込み切は、4日後の2/24(木)24:00 と大変短くなっており、受講期間は3月2日(水)~28日(月)と少し短くなっています。

詳細は下記よりご確認ください。
研修は、FundamentalもCoreもすべてオンデマンド形式です。 <https://www.crams.or.jp/system/>

認定URAの審査申込みは、2月23日(水)~3月3日(木)です。

<https://www.crams.or.jp/>

CRAMS ORJP
一般社団法人リサーチ・アドミニストレーターズスキル認定機構・本制度は、一般社団法人リサーチ・アドミニストレーターズスキル認定機構...
本制度は、一般社団法人リサーチ・アドミニストレーターズスキル認定機構が、実施するURAの質保証に資する認定制度 (URAスキル認定制度) です。

小泉 周、池田 一郎、他13人 コメント8件 77人が既読
いいね！ コメントする

- Takuya Kubo
ここでのアナウンスがなければ、見逃してましたね。申込み締め切りまで日がないので、即内の調整というかコンセンサスを取るのが難しいかな。
いいね！ 返信する 10週間
- 若松 永重
オンデマンドなら業務に穴を開けずに受講することもできますよね。自腹切れば、今URAでなくても受けられるというのは、意識の高い人にはいいかも。でも、みんなfundamentalsからヨイドンなんですね。
いいね！ 返信する 10週間
- 三好 晴子
しゆ、終了しておりました。、
自腹で受けようと思っていたのでショックです。、

いいね！ 返信する 10週間

- 松山 紀里子 投稿者 管理権 +2
清具御礼が早いですね。本年度は、Fundamental研修、Core研修、認定URA審査を同時並行で実施するので、人数制約が設けられているんだと思います。事務局は大変そうです。
いいね！ 返信する 10週間
- Motoki Matsuda
早！
まあ、今年は、タイミング的に無理だったので、来年挑みたいですよ
いいね！ 返信する 10週間
- 若松 永重
半り、聞に合いましたいつも松山様への情報に助けていただいています。
いいね！ 返信する 10週間



文部科学省「令和2年度大学等における産学連携等実施状況について」の調査結果が出ています。
https://www.mext.go.jp/_site/shinkou/sangaku/1413730_00013.htm

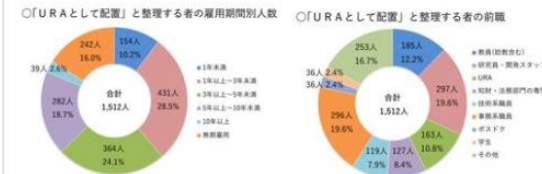
URAの配置数は、他社という横ばい(1,507人~1,512人)でした。そして、無期雇用のURAの割合が264人(17%)~242人(16%)に減。特に他社もなく、無期雇用は徐々に増えるものと思っていたのですが、実際はそうではないようです。今回の調査から、URAの前職が以前よりも細かく調査されています。私の想像と違って、学生&ポストドクからURAIになっている人が少ない...。どこも即戦力を必要としているということでしょうか？それとも、若者には認知(人気)がない職業ってことなのでしょうかね。

2-2. URAの配置状況

URAを配置している機関数

区分	国立大学等	公立大学等	私立大学等	合計
H29年度	78	16	52	146
H30年度	79	22	68	169
R01年度	81	20	76	177
R02年度	84	25	73	182
前年度増減数	3	5	-3	5

※平成29年度調査から、「産学連携コーディネーター」を「URA」に含めて集計している。



小泉 周、原田 隆、他10人 コメント8件 64人が既読

いいね！ コメントする

他回答者を見る すべてのコメント

原田 隆
ざっと見ましたが令和元年度は雇用財源やURAがどのような業務を行っているかについての項目がありました。令和2年度にはないようです。(他の資料にあるのかもかもしれませんが) 令和2年の様式100の列はAHまで、令和元年度はDOまでありました。
いいね！ 返信する 13週間

Takuya Kubo
原田 隆 アプリ化しようと待ってたのにデータの連続性がなくなっちゃったから困りました。
いいね！ 返信する 13週間
返信4件

野水 昭彦
当初かなりの人数が産学コーディネーター等からURAIになったと思います。そのような方は企業出身など比較的年令が高く、そのあたりが減少要因になったのでは？
いいね！ 返信する 13週間

Kimiko Ishida
URA配置の私大が増えて、..
いいね！ 返信する 13週間 編集済み